

とっとり県政だより

2021(令和3)年4月号 通巻732号 毎月1日発行

2021

幅広い職業で活躍する女性たち



目次

P2 特集

誰もが輝く社会を目指す

～女性活躍に向け、計画新たに～

P5・6 県政トピックス

- 今すぐ申請・マイナンバーカード
- コロナワクチン接種始まる
- 産廃計画地周辺の地下水調査

ふせ 布勢運動公園の愛称新たに

県立布勢総合運動公園の愛称が4月1日から「ヤマタスポーツパーク」に変わります。皆さんもぜひ覚えて、積極的に使ってください。

問 県庁資産活用推進課

☎0857-26-7612

☎0857-26-7616

<https://www.pref.tottori.lg.jp/295707.htm>



DATA

県人口／550,234人〔男 263,126人、女 287,108人〕
世帯数／221,635世帯（2021年2月1日現在推計）

誰もが輝く 社会を目指す

女性活躍に向け、計画新たに

県内では、誰もが働きやすい職場づくりが進められ、女性の活躍の場は年々広がってきています。一方、長時間労働や性別で固定化された役割分担意識によって男性の家事・育児時間はいまだ少なく、これが女性の社会参画を困難にする一因に。県は、これらの課題解決のため「第2次鳥取県女性活躍推進計画」を策定し、働くことを希望する人が安心して働き続け、その能力を十分発揮できる社会を目指していきます。

働きやすい環境が拡大

鳥取県の働く女性（15～64歳）の割合は、73.6%で全国6位（2017年就業構造基本調査）、前回調査（12年）の67.5%から大きく上昇しました。育児中の女性（25～44歳）も78%が働いており、子育てと仕事を両立しながら奮闘する姿が浮かび上がります。

県は、01年に「鳥取県男女共同参画計画」を策定。20年12月には、男女に限定されない性の多様性に



(株)アークスの園芸部で働く女性たち。従業員の約3割を女性が占める

配慮して「鳥取県性にかかわりなく誰もが共同参画できる社会づくり計画」に改称し、あらゆる場面で性別に関わらず一人一人が輝ける社会の実現を目指して、さまざまな取り組みを進めています。また、「働く場」に特化した「鳥取県女性活躍推進計画」を16年4月に策定。「やりがいを持ち活躍できる環境の整備」と「誰もが安心して働き続けられる環境の整備」を柱に施策を展開しています。

例えば、誰もが働きやすい職場

づくりを積極的に行う企業を男女共同参画推進企業に認定。就業規則の整備を支援し、その取り組みを県のウェブサイトで紹介しています。これまでに847事業所を認定しました①「鳥取県男女共同参画推進企業制度」。このほか、②「鳥取県輝く女性活躍パワーアップ企業」や③「イクボス・ファミボス宣言企業」の普及にも注力。（3頁参照）こうした取り組みが実を結び、女性が活躍できる働きやすい環境が県内にも広がっています。

これら①～③全てに取り組んでいるのが株式会社アークス（北栄町）。園芸・農業用品の製作・販売や住宅新築・建築工事を請け負う同社は、週1回ノー残業デーを設定し、定時退社を実現するほか、管理職からの声掛けによる有給休暇の取得促進、積極的な女性管理職の登用などを実践しています。社内で初めて従業員が育児休業を取得したのを機に、休業制度を分かりやすく解説した冊子を全員に配布・周知し、休みやすい雰囲気。また育休後は、上司が本人に必ず面談を行い、希望に沿う勤務形態に配



家族と過ごす 喜びを体感

鳥取県金属熱処理協業組合
技術課 検査管理係長

かわ かみ あきのり

川上 昭徳さん

2019年7月に第3子が生まれ、3カ月の育児休業を取得しました。きっかけは、妻の両親の転居。産後に両親のサポートを得られないことから、妻から「育児休業が取れないか」と相談されました。私の勤務先は、「多能工化」(※1)を導入しており、普段から休みが取りやすい環境ですので、育児取得を決意。上司に相談したところ、快諾してもらい、引き継ぎも必要なくスムーズに育児に入りました。

育児中は、上の子ども2人の保育園の準備や送迎、買い出しに加えて、昼夜問わず第3子の授乳も。今では記憶がないほど忙しかったです。そんな中で一番に感じた喜びは、子どもたちが帰宅するのを迎えること。

収入面での不安は、やりくりで乗り越えました。

仕事に復帰した時は、やはり職場に対して「申し訳ない」という気持ちがありましたが、家族と過ごすことができた時間は、とても貴重なもの。取得して本当に良かったです。社会全体で男性の育児取得が当たり前になれば、罪悪感もなくなるのかもしれませんがね。この春から妻も復職。引き続き、家事・育児を妻と協力して行い、お互いに仕事との両立を図っていきたいです。



子どもを沐浴させる川上さん(写真提供=川上さん)

(※1) 一人の働き手が複数の技術・技能を身に付けて、状況に応じて複数の業務に対応できるようにすること

結婚や出産を経ても働く女性が多くなる一方で、管理的地位に占める女性の割合は男性に比較すると、まだまだ低い水準にあります。社会の意識改革が進まないことも要因としてある一方で、実は「管理職に就きたくない」との女性の本音

管理職登用が進まぬ背景



株式会社アークス総務部次長の山本さん

慮しています。
総務部次長の山本由香里さんは「従業員全員の意識改革で、休暇制度の利用が当たり前になることが大切」と話し、職場の雰囲気についても「普段から部下と上司の距離が近く、意見が言いやすい」、こうした職場環境が「働きやすい」との声につながっています。現在、女性従業員からの要望を受けて、更衣室の改修を検討中。さらに働きやすい職場づくりを目指しています。

女性の活躍推進に向けた取り組み

①鳥取県男女共同参画推進企業認定制度

仕事と家庭の両立支援、働きやすい職場づくり、性別によらない均等な能力活用などに取り組む企業を認定。認定されると、広告や名刺に認定ロゴマーク(右図)が使用できるほか、県が行う入札での優遇措置などのメリットがあります。



②鳥取県輝く女性活躍パワーアップ企業登録制度

女性活躍のための自主宣言・行動計画を策定し、人材育成や環境整備に取り組む企業を登録する制度。登録した企業には、取り組みに対する助成制度を設けています。

③イクボス・ファミボス宣言企業

イクボス・ファミボスとは、子育てはもちろん介護しながら働き続けられる職場環境づくりを行い、部下の仕事と家庭の両立を応援する職場のリーダーです。2021年2月時点で、644社の代表者がイクボス・ファミボスとしてワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むことを宣言し、従業員に周知した上で実践しています。

問 県庁女性活躍推進課

☎0857-26-7792 📠0857-26-8196

<https://www.pref.tottori.lg.jp/danjyo/>





周囲の力借りて 両立を実現

株式会社アクシス
取締役・管理統括本部 本部長

やました かよ
山下 香世さん

ソフトウェア開発やウェブサイト制作などを手掛ける株式会社アクシスで、取締役として経理・総務などの管理統括本部全体のマネジメントをしています。就任したのは約7年前。最初こそ胸が踊ったものの、時が経つにつれ「責任は重いな…自分にできるか」という不安が増大。とはいえ、「挑戦は常に不安と隣り合わせ」と自身を鼓舞しました。

大切にしていることは2つ。まず、会社にとって最善は何かを常に意識すること。これは部署をまたいで連携が必要なときでも同じです。2つ目は部下を信頼すること。私が担当していた業務を少しずつ部下に配分し、任せています。時には、仕事の内容で意見を交わし、ぶつかることがあります。全ての意見を取り上げることはできません。ただし、熱く誠実に業務を遂行する部下の努力には、報いてあげたいと考えています。

困難な状況に陥った際には、周囲の力を借りて解決してきました。これは家庭も同じ。全部一人ではできません。現在、両親の介護もありますが、家族の協力で助かっています。

今でも方向性や判断が間違っていないか、悩むことも多々。それでもプロジェクトの成功時に得られる達成感を励みに、新たな業務にチャレンジし続けたいです。

も。理由は個々にも異なりますが、「家庭との両立が困難だから」と答える女性が約3割。「男性の家事・育児参画時間が女性より少ない」という現状も、背景にあるようです。

この現状に対して、男性の家事・育児参画を積極的に応援する企業も。鳥取県金属熱処理協業組合（米子市）では、川上昭徳さんが3カ月の育児休業を取得。同社では、普段から休みが取りやすい環境を整えており、会社全体で背中を押してくれたと言います。（3頁参照）

県は、性別で固定化された昔ながらの役割分担意識を見直してもらおうと、男性の家事、育児、介護参画に向け、セミナーの開催や普及啓発を行っています。

また、女性が管理職を敬遠する理由の一つに、「身近に目指したい存在の女性がいらない」ことも挙げられています。そこで県では、目標とする対象の女性をイメージしてもらえるように、株式会社アクシスの山下香世さんをはじめ、さまざまな業種で活躍する女性をウェブページ

や新聞などで、ロールモデルとして広く紹介しています。

このほかにも▽多様で柔軟な働き方の促進▽女性の入職の少ない分野への進出促進などを盛り込んだ「第2次鳥取県女性活躍推進計画」（20年12月策定）により、女性の活躍する場が広がるよう、引き続き取り組みます。

鳥取県女性活躍推進課
☎ 0857・267・077
F 0857・298・196
✉ jyosei-katsuyaku@pref.tottori.lg.jp

第2次鳥取県女性活躍推進計画のポイント

2020年12月に策定した「鳥取県性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画」（2月号参照）と一体的に、女性の活躍を推進するための取り組みを進めます。

1. 管理的地位に占める女性の割合を30%以上に

企業への専門家派遣や職場環境の改善のためのアドバイスを実施するほか、輝く女性活躍パワーアップ企業への登録を促進

	現状値(20年度)	目標値(26年度)
従業員10人以上	26.4%	30%以上
従業員100人以上	26.1%	30%以上

2. 男性の家事、育児、介護などへの参画を促進

セミナーの開催や普及啓発を行うほか、男性の育児・介護休業取得を促進する企業を支援

3. 多様で柔軟な働き方を促進

短時間・短日数勤務、時差出勤、テレワーク（※2）など、それぞれのライフスタイルに応じた働き方の導入を支援

4. 女性の参画が少ない分野等への参入を促進

中・高・大学生へのキャリア教育の実施や、女性が就業しやすい環境整備を支援

（※2） 情報通信技術（ICT）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方



暮らしを便利にする1枚 ～今すぐ申請・マイナンバーカード～

あれもこれもできる! 優秀なカード



1 健康保険証として使える

県内では、県立・市立・町立の病院で利用が可能。順次、薬局や他の医療機関での導入を目指しています。

2 コンビニで証明書を取得できる

毎日(年末年始を除く)午前6時から午後11時まで、手続きできます。このサービスが利用できる市町村は以下で確認できます。

<https://www.lg-waps.go.jp/01-04.html>



3 オンラインでいつでも手続き

確定申告やインターネットバンキングなど、オンラインの手続きがいつでも可能になります。

■申請方法

○郵便

「マイナンバーカード交付申請書」(*)に署名または記名・押印し、顔写真を貼り付け送付。

※カード未発行者には、地方公共団体情報システム機構から2021年1～3月に送付。

○パソコン・スマートフォン

オンライン申請用ウェブサイトアクセスし、情報を入力して送信する。(顔写真データが必要)

<https://www.kojinbango-card.go.jp/kofushinse/>



○証明用写真機

マイナンバーカード対応の証明用写真機で「マイナンバーカード交付申請書」のQRコードをかざす。必要事項を入力し、その場で顔写真を撮影して送信する。

マイナンバーカードは、マイナンバー(個人番号)が記された、顔写真とICチップ付きのカードです。本人確認のための「身分証明書」として利用できるほか、行政サービスや国税などの手続きをインターネットで申請できる「電子証明書」の機能を持っています。

日本に住民登録をしている人は全員が作成でき、外国人や赤ちゃんも対象です。顔写真付きなので、公的な身分証明書としてほとんどの手続きがこれ1枚で行えます。例えば、口座開設や店舗での会員登録などのときに、本人確認の書類として利用できます。また、ICチップを使用する「電子証明書」の機能は、住民票や印鑑証明書などがコンビニエンスストアで簡単に取得できます。さらに、インターネットで子育てや介護などに関する申請や情報の検索も可能。いつでも手軽に手続きでき、なかなか外出できない人にも便利です。今年3月からは「健康保

険証」としても利用可能になりました。就職や転職、引っ越しをしても、必要な変更手続きを行えば、引き続きカードが使用できます。秋には、インターネットを通じて薬や検診などの医療情報が確認できるようになるほか、2021年分の確定申告から医療費の自動入力が可能になります。

セキュリティは万全

マイナンバーカードは防犯性が高く安心です。情報は分散管理されており、芋づる式に漏えいすることを防ぎます。

- 顔写真付きなので、なりすましはできない
- マイナンバーを見られても、番号だけでは悪用できない
- ICチップを不正に読み出そうとすると、壊れる仕組み
- 紛失、盗難時は24時間365日、一時利用停止できる

☎マイナンバー総合フリーダイヤル

☎0120-95-0178



☎県庁情報政策課 ☎0857-26-7615 ☎0857-26-8289 ✉jouhou@pref.tottori.lg.jp
<https://www.pref.tottori.lg.jp/270939.htm>






発症防ぐ効果、無料で実施 ～コロナワクチン接種始まる～

相談窓口

内容	窓口
接種方法・場所などのお問い合わせ	お住まいの市町村
体調への不安の相談	かかりつけ医
ワクチンの副反応や効果などに関する相談、かかりつけ医がいない場合の相談	新型コロナワクチン相談センター(鳥取県看護協会内) ☎0120-000-406 ☎0857-50-1033 (午前9時～午後5時15分)
ワクチンに関する厚生労働省の電話相談	☎0120-761-770 (午前9時～午後9時)

■ワクチン接種に関する厚生労働省のウェブサイト
 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00218.html



県庁医療・保険課

☎0857-26-7976 ☎0857-26-8168

<https://www.pref.tottori.lg.jp/293879.htm>



新型コロナウイルスワクチンの一般向け接種が始まります。市町村から「接種券」が郵送されたら、予約をして無料で受けることができます。接種回数は2回です。このワクチンは徐々に供給されるため、①65歳以上の高齢者②基礎疾患のある人や高齢者施設の従事者③それ以外の人の順で計画的に接種を実施。①の高齢者の接種は4月以降に始まる見込みです。

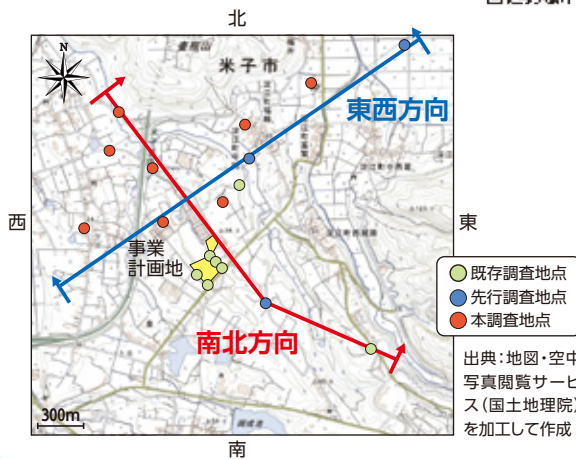
国が2月14日に承認した新型コロナワクチンは、2回の接種で、発熱や咳などの症状が出ること(発症)を防ぐ効果が認められています。ワクチン接種に関する情報は国のウェブサイトで確認できます。副反応についても、先行して接種を受ける医療従事者を対象に、国が調査を実施し、結果を随時公開。その他、ご不明な点や相談事は左記窓口へお問い合わせください。

地層の全容おおむね明らかに ～産廃計画地周辺の地下水調査～

地質の構造・地下水の分布、広く調査

計画地周辺の地質構造・地下水の分布を東西・南北方向の断面で分析。会議資料や議事録などの詳細はウェブページで確認できます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/sanpai/>



出典：地図・空中写真閲覧サービス(国土地理院)を加工して作成



県庁淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

☎0857-26-7498 ☎0857-26-8189

✉ sanpaieikakushinsa@pref.tottori.lg.jp

米子市淀江町に計画されている産業廃棄物管理型最終処分場について、県が設置した地下水等調査会の第4回会議が2月23日にオンラインで開催されました。会議では▽対象エリアの地質構造および地下水の分布がおおむね推定できたこと▽3つの帯水層とその帯水層間に難透水(水を通しにくい)層が存在すること▽透水層・難透水層ともに対象エリアに広くほぼ連続していること

米子市淀江町に計画されることが報告されました。委員からは、透水性が高い部分と低い部分との区別をもう少し検討する必要があると指摘され、今後もさらに詳細な調査が続けられます。得られたデータを基に再現する3次元シミュレーションは、地表水と地下水を一体化させた解析が可能なシステムを使用。補足的にエリア外からの地下水の出入りも確認します。解析結果の報告は来



読者の声 (2月号の意見・感想から)

- 貧困や地球温暖化などの問題に、このままでは孫たちの生活はどうなるかと不安です。「SDGs」の取り組みを読み、自分もできることからやりたいと思いました。(60代)
- 「SDGs」、僕は小まめに電気を消したいと思います。(10代)

- 私の職場は、男性も育児休業を取得しやすいです。私も1カ月取得し、育児と家事両面の大変さが身に染みて分かりました。(30代)
- 県立高校でICTを使った農業が学ばれていることに驚きました。なりたい職業の上位に農業経営者が入るのが楽しみです。(30代)

- 食べる力を育むレシピ「きのこナゲット」。簡単にできておいしかったです。エリンギのかみ応えが良かった。(40代)



2月号には795人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



県産品プレゼント

応募締め切り 4月20日(火)必着

基本のジャム(150g) 4種食べ比べセット【5名】

砂糖の使用を最小限にとどめ、素材の持つ自然な甘さを生かした優しい味のジャムです。徹底した衛生管理の下、丁寧に手作り。「完熟いちご」「ブルーベリー&はちみつ」「かぼちゃ&メープルシロップ」「さつまいも&バター」の4種セットです。



株式会社KOGANE (米子市米原)
☎0859-30-4138 ☎0859-33-6597

応募方法 クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見を書き、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブサイト応募フォーム
<https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>



個人番号が記された、顔写真とICチップ付きのカード「マイ○○○○カード」。○に入る文字は次のうちどれでしょう。

ヒントは
5頁

- ① センター ② アンサー ③ ナンバー

◎ 2月号のクイズの答えは「②性」でした。



手話を覚えてみよう……「車に気を付けて」

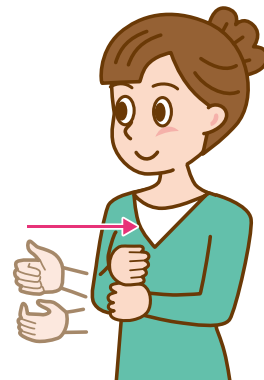
入学や進級を迎える春、児童の歩行中の交通事故が増加する傾向にあります。児童のみならず歩行者は車に気を付けて、車両の運転者は安全運転を心掛けてください。

信号のない横断歩道を横断中または横断待ちの歩行者がいる場合、車両の運転者は必ず一時停止を。守らなければ道路交通法違反になり、罰則があります。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/294647.htm>



親指と4指を平行に伸ばした両手を胸の前で向かい合わせ、左右に2回動かす



丸めた両手を上下に置き、握りながら胸に引き寄せる



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 ☎0859-30-3720 ☎0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



3色野菜肉巻き

ポン酢のさっぱりした味付けです。
彩りも良いので、お弁当のおかずにも。



【協力】鳥取県食生活改善推進員連絡協議会

【材料】(4人分)

ゴボウ・ニンジン・アスパラガス ……各60g
豚バラ肉 ……120g
キュウリ・レタス ……各40g
ミニトマト ……8個
キャベツ(千切り) ……160g
ごま油 ……少々
ポン酢 ……大さじ2

【作り方】

- ①ゴボウは皮を削り、水に浸してあくをとる。
- ②ゴボウ、ニンジン、アスパラガスを6cm長のスティックに切る。
- ③鍋に湯を沸かし、ゴボウとニンジンを2分程度ゆで、そこにアスパラガスを入れて1分程度ゆでた後、冷水にさらす。
- ④豚バラ肉を一切れずつ広げ、③を巻く。
- ⑤フライパンにごま油を入れて熱し、④を並べて軽く焼き、ポン酢を加え、焼き色が付くまで返しながらかく。
- ⑥キュウリ、レタス、ミニトマト、キャベツと共に皿に盛り付ける。

食物繊維やビタミンを多く含む野菜。体調を整えるためには毎日の摂取が必要です。
「野菜たっぷりレシピ」を食卓に加えて、1人1日350gの野菜摂取を目指しましょう。

鳥取地方気象台の電話窓口変更

4月1日から、一般向け電話窓口が次のとおり変わります。

受付時間	電話番号
平日(午前8時30分～午後5時15分)	0857-29-1312
上記以外(平日夜間・土日・祝日含む)	0857-29-4195 (自動音声による気象情報)

☎ 鳥取地方気象台
☎0857-29-1312 ☎0857-29-3212
<http://www.jma-net.go.jp/tottori/>



岡山県の地酒をちょっとずつ

優れた酒米の産地、岡山県。飲み切りサイズで日本酒を楽しんでもらいたいという思いから、県内27の蔵元が集結し、ミニサイズ(100ml)の「OKAYAMA SAKAGURA COLORS」を開発しました。ぜひ、個性豊かな岡山の地酒を味わってみてください。

岡山県からの
お知らせ



☎ 岡山県マーケティング推進室
☎086-226-7365 ☎086-225-3449
<https://jrnsn-okayama.jp/topics/355>



お知らせ

厚生労働省鳥取労働局委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」

シルバー人材センター 会員募集中!!

60歳以上の健康で
働く意欲のある皆様

入会申込・お問合せは
あなたの街の
シルバー人材センターへ



シルバー人材センターは
こんなお仕事をしています。

庭木の手入れ、
除草・草刈り、
農作業補助など

生活支援、
介護補助、墓掃除、
屋内外の掃除

施設管理、
駐車(駐輪)場管理など

大工仕事、襖・
障子・網戸張替など

賞状筆耕、宛名書き、
受付事務など

チラシの配布、
経理事務、
パソコンなど



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会
TEL.0859-37-2531 FAX.0859-37-2537

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町1丁目76番地
URL <https://www.torisilver-ren.com>



*広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。